展覧会の絵（1966）

メディア 映画　アニメ
ジャンル 音楽
製作国 日本
色彩 Color
時間 39分
初公開日 1966/11/11

【解説】
　手塚治虫の実験アニメーション作品のひとつ。手塚治虫版の「ファンタジア」ともいえる作品。ムソルグスキーの組曲『展覧会の絵』から受けたインスピレーションをもとに10本のオムニバス・アニメが展開していく。ラヴェルの編曲版に着想を得ているが、実際の編曲は冨田勲が担当。後に冨田自身のアルバム用にこの組曲をシンセサイザーで編曲していが、これは本作の影響が深いと思われる。「評論家」「人工造園師」「整形外科医」「工場主」「チンピラ」「チャンピオン」「テレビ・タレント」「禅／葬式」「兵隊」「フィナーレ」の10話が、それぞれ視覚的にさまざまな実験をおこないつつ、アニメーションとしてのおもしろさと楽しさ、風刺をとりまぜながら、間奏によって結ばれ展開していく。

【クレジット】
総監督 手塚治虫　Osamu Tezuka
演出 大貫信夫
三輪孝輝
松尾信吾
杉山卓
伴俊作
原案 手塚治虫　Osamu Tezuka
脚本 手塚治虫　Osamu Tezuka
美術監督 永原達也
編集 松浦典良
音楽 富田勲　（ムソルグスキー作曲、組曲「展覧会の絵」より）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.